

今回のコロナ禍による影響や新たな社会変容などの潮流を踏まえ、コロナとの共存を前提に、感染防止・経済活動の両立を図る「ウィズコロナ」と、コロナ終息後に反転攻勢を図る「ポストコロナ」にフェーズを分け、大阪の再生・成長に向けた課題を整理。

経済（産業・雇用）

コロナ以前の大阪

好調なインバウンド

- 来阪外国人旅行者数が10年で約5倍に増加
- インバウンド産業は1兆円規模まで成長
- Wifi整備や客室数の増加等の受入環境の整備

健康医療関連産業の集積

- 医薬品生産額等の高い全国シェア
- 大学や企業の集積に加え、中之島やうめきた等におけるライフサイエンス拠点形成の動き

リーディング産業の乏しさ

- 東京や愛知に比べて、リーディング産業が乏しい産業構造（一方でバランスの取れた産業構造）

非正規率の高い就業構造等

- 非正規雇用の割合が全国平均より高い
- 女性、高齢者等の就業率が全国平均より低い

人手不足と人材不足

- 介護職、建設職などの人手不足が顕在化
- 若者を中心とした首都圏への人口流出

社会・暮らし

地域のつながり

- 独居老人世帯が全国に比べて高い
- 少子高齢化の進展等で地域のつながりが希薄化

健康づくり

- 平均寿命・健康寿命が全国に比べ低い

高齢者

- 府内すべての地域で、生産年齢人口等が減少し、高齢化が進展
- 要介護認定率が全国一高い

子ども

- 学力・学習調査結果では、全国より正答率が低い
- 児童虐待相談対応件数（人口比）が全国一

所得

- 1世帯あたりの可処分所得が全国に比べ低い

感染症等への対応

- 大安研の設置による感染症など健康危機事象への対応強化

自然災害への対応

- 南海トラフ地震など大規模災害への対応力の強化
- 頻発する大規模な風水害等への対応

コロナによる影響と新たな潮流

世界的な人・モノの移動制限、さらには、国内における不要不急の外出自粛や各施設への営業自粛の要請により、大阪経済や府民生活に大きな影響。加えて、DXの加速や新たなイノベーションの創出、働き方の変化など新たな潮流が生まれている。

影響

インバウンドの消失とサプライチェーンの寸断

- 大阪経済の一つの柱であるインバウンドが消失
- 中国を中心とするサプライチェーンの構築に係る課題が顕在化

国内消費の減少

- 宿泊、飲食、娯楽等を中心に消費減少
- 大阪は全国に比べ家計消費が減少

企業業績の悪化・倒産の増加

- 府内GDPは大幅にマイナス
- 宿泊、飲食等のほか、製造業も業績悪化。
- サービス業を中心とする新型コロナ関連倒産が発生（大阪は全国2番目）

雇用情勢の悪化

- 有効求人倍率の低下
- 大阪は全国に比べ失業率が悪化
- 非正規雇用者率が高い大阪において、解雇・雇止め労働者が増加（全国2番目）
- 介護部門等では、依然人手不足が顕在

新たな潮流

EC取引の拡大

- 世界的に巣ごもり消費・ネット取引の増加

コロナ禍における成長産業

<デジタル関連産業>

- DXの加速や新しい生活様式を受け、業績好調。新規事業開発の動きも活発。
- IT人材ニーズのさらなる高まり

<健康医療・介護関連産業>

- 健康意識の高まりや世界的な高齢化の進展に伴い市場拡大が期待

働き方の変化

- テレワークの増加（大阪では、中小企業の導入率が低い状況）
- 副業等の多様な働き方の議論が加速

影響

地域社会等への影響

- 外出自粛により社会的つながりの喪失
- 独居老人世帯が多い中、QOLの低下等が懸念
- 児童虐待やDV、自殺者増加の懸念

出勤等の制限

- テレワークの増加（大阪では、中小企業の導入率が低い状況）
- オンライン会議の増加・出張の減少

長期間の休校

- 家庭環境によるオンライン授業の格差懸念
- 長期間の休校に伴う児童への影響

所得の低下

- 賃金水準が低下
- 生活保護申請件数の増加

新たな潮流

デジタル化など社会全体でのDXの加速

- 巣ごもり消費・ネット取引の増加
- 行政手続や教育のオンライン化の進展
- オンラインを活用した社会的つながりの創出
- ニーズの高まり
- 人の移動や健康データなど、ビッグデータの活用動き

テレワーク等に伴う生活スタイルの変化

- ワークライフバランスへの意識変化
- 職住融合型の新しいライフスタイル
- 郊外型スモールオフィス設置の動き
- 首都圏の若者を中心とする地方移住への関心の高まり

影響

全国的に感染症が拡大。特に東京をはじめ都市を中心に感染が拡大。

7月豪雨災害など、国内で類をみない自然災害が発生

新たな潮流

- 世界的に感染症対策の重要性が増大
- 災害対策における感染症防止対策の視点
- 東京一極集中に係るリスクの是正の動き

大阪の再生・成長に向けた課題

コロナによる経済や雇用、府民生活への影響等を踏まえ、緊急的に対策を講じるべき課題を整理するとともに、コロナとの共存を前提に、感染防止・経済活動の両立を図り、さらにはポストコロナを見据え、反転攻勢に転じていくうえでの課題を整理。

ウィズコロナ（感染防止と経済活動の両立）		ポストコロナ（反転攻勢）	
緊急対策期	反転攻勢準備期	反転攻勢期	
【事業継続支援等】 ○倒産等を防ぐ事業継続支援（制度融資、支援金等） ○コロナ禍における成長産業や社会課題解決に貢献する企業等への支援	【産業育成】 ○サプライチェーンの分散化など企業におけるレジリエンス向上 ○ポストコロナをけん引するスタートアップの創出やニューノーマルに対応したイノベーションの促進 ○健康意識の高まりや世界的な高齢化の進展、DXの加速などの社会変容を踏まえた新たな成長産業（健康・介護、デジタル）の育成	【雇用・人材育成】 ○自殺防止等の観点を含めた失業者等の再就職支援や、再就職支援を通じた介護など人手不足分野へのマッチング ○女性や高齢者、若者等の就労機会の拡充 ○中小企業等も含め、社会全体でのテレワーク等の導入支援 ○IT人材など、ポストコロナを支える高度人材の育成	【雇用・人材育成】 ○テレワークや副業など、多様な働き方を通じた女性や高齢者等のさらなる就労機会の拡充 ○外国人材の受入促進等を通じた人手不足の解消。 ○イノベーションやスタートアップ環境をもとに、国内外から高度人材の呼び込み
【需要喚起】 ○インバウンドの消失を補うための、国内需要等の取り込み（国内旅行需要、ECの活用等） ○感染症対策の徹底による安全・安心な受入環境整備	【インバウンド・需要喚起】 ○新たな都市魅力の創出等による国内外からの集客力強化 ○インバウンドの量から質（消費額増）への転換 ○拡大が予想されるEC市場への参入支援	【セーフティネット・健康】 ○所得の減少に伴う生活困窮者支援 ○外出自粛等による精神的不安等への対応（うつ、DV、児童虐待等） ○外出自粛等によるフレイルリスクの高まりへの対応（健康づくりや社会的つながり）	【セーフティネット・健康】 ○SDGs先進都市の実現に向けた、誰一人取り残さないセーフティネットの強化 ○ニューノーマルに対応したリアルとバーチャル両面からの新たな地域のつながりの創出 ○「10歳若返り」をめざした取組みの加速
【教育】 ○学校現場の感染症対策 ○オンラインを活用したすべての子どもたちに対する学習機会の確保 ○長期間の休校等に伴う心のケア	【教育・学び直し】 ○国際交流の促進等による子どもたちの多様性の向上 ○先端技術を活用したカリキュラムの個別最適化等、新たな教育の促進 ○オンラインを活用したあらゆる世代を通じた切れ目のない学習機会の確保（学び直し・リカレント教育）	【地域活性化】 ○テレワークや、郊外部へのサテライトオフィス設置の動きを契機とした地域の活性化	【地域活性化】 ○働きやすさと暮らしやすさを両立する「新しいライフスタイル」の確立による移住促進等 ○リアルとバーチャルの両面からの交流人口の増加などによる地域の活性化 ○環境にも配慮した持続可能な地域社会の構築
【デジタル化の加速】 ○個人情報保護とデータ活用の関係 ○行政DX（オンライン申請、ハンコレス、ペーパーレス等）や府民生活を支えるDXの推進	【スマートシティの実現】 ○大阪モデルのスマートシティの府域への展開	【感染症対策】 ○検査体制や医療体制の強化 ○感染症対策に係る実効性の確保に向けた法制度整備	【感染症対策】 ○新たな感染症への備え
【災害対策】 ○感染防止を踏まえた防災・減災対策	【災害対策】 ○経済と府民の生活を支えるため、頻発する自然災害や大規模災害への備え	【東京一極集中の是正】 ○東京一極集中のリスクへ対応するための東西二極の一極（副首都・大阪）の確立	